

令和4年度 府立学校人権教育研修B（aコース 子どもの人権） 実施要項

- 1 目的 課題や悩みを抱える児童生徒の現状を理解し、一人ひとりの人権が尊重された教育を進めるために学校が求められる役割について認識を深め、外部連携を含めた校内体制づくりなどの具体的な取組みについて考える。
- 2 対象 府立学校（岸和田市立産業高等学校の定時制の課程を含む）の教職員
※各校（課程別）1名以上

3 内容等

回	日時	内容	講師等
1	オンデマンド開催 9月22日（木） ～ 10月12日（水）	実践発表 「話せてよかった」と言われるために 〔実践発表・講演〕	府立学校教職員 国際ビフレンダーズ大阪自殺防止センター 理事長 北條 達人
	提出締切:10月19日（水）		

- 4 会場 所属校等
- 5 担当室 人権教育研究室
- 6 その他 （1）事前に準備しておく事項があるので、シラバスを必ず確認すること。
 （2）Web 開催（オンデマンド開催、リアルタイム開催）の場合、研修対応ポータルサイトの実施マニュアルを参照すること。

令和4年度 府立学校人権教育研修B（aコース 子どもの人権）
シラバス

2093

1 目的

課題や悩みを抱える児童生徒の現状を理解し、一人ひとりの人権が尊重された教育を進めるために学校が求められる役割について認識を深め、外部連携を含めた校内体制づくりなどの具体的な取組みについて考える。

2 大阪府教員等育成指標の対象項目

OSAKA 教職 スタンダード	共通の指標														
	I			II			III			IV			V		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
第4期															
第3期	○			○			○		○				○		○
第2期	○			○			○		○				○		○
第1期															
第0期															

3 研修課題とねらい等

回	研修課題	ねらい	内容	準備物・事前課題
1	<p>児童生徒を取り巻く課題とその背景</p> <hr/> <p>児童生徒を支えるために学校に求められる役割</p>	<p>子どもが自ら命を失う背景には様々な要因があることを知り、その課題は社会的な課題であることを認識する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 課題を抱える児童生徒を支えるための外部連携を含めた校内体制づくりについて認識を深める。 厳しい状況におかれている児童生徒を支えるために学校に求められる役割について認識を深める。 	<p>講演を通して、児童生徒を取り巻く様々な背景を知り、子どもが発するSOSをどう把握するかについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒を支えるために学校に求められる役割について、実践発表から学ぶ。 講演を通して、いじめや人間関係、家庭環境が及ぼす児童生徒への影響を知り、生徒の命を守るための取組みについて考える。 	<p>事前課題</p> <p>教職員人権研修ハンドブックQ26を読んでおく。 ⇒ダウンロード</p>